

< 毛呂山町 >

## 思い上がりの「舌先三寸」を許してはならない！

### 毛呂山町・井上健次町長に「自治体首長の資格…なし！」

毛呂山町行政のトップである井上健次氏は、毛呂山町議2期を経て2011年5月15日より毛呂山町長に就任している。現在は2期目である。

しかし、この井上町政の実態は、行政とは名ばかりの、町長の無責任と身びいきを平然と行う、公私混同による毛呂山町の私物化である。

2期に渡る井上町長の、許しがたい町民不在の「おれ様行政」の顕著な例は、ざっと挙げただけでも次の通りだ。

- ① 鎌北湖に臨む地権者・相川氏（川越市民）の土地を、観光開発用地として自ら購入したいと申し出ながら、無責任にも話を二転三転させた挙句に地権者を放置。
- ② それどころか、鎌北湖開発をポイと捨て置き、今度は自らの支持を期待して柚子農家優遇のための、**柚子果汁搾汁棟を4,500万円もの町税と政府交付金を投じて増築したものの、その設備は年（平成29年度）になんと17日間しか稼働せず、収益は5万円という巨額の無駄遣いに終わっている。**
- ③ 井上町長与党に属する弓田茂樹町議の実兄が経営する㈱弓田工務店に、「毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合」発注の工事を請け負わせる。しかも、当初、毛呂山町議会議員政治倫理条例を踏まえた「毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合」の指名委員会が、指名候補企業から㈱弓田工務店を外した企業リストを作成したところ、同組合の管理者でもある井上町長自身が**赤ペン**で、㈱弓田工務店を入れるよう指示した。その後も、㈱弓田工務店へのあからさまな利益供与を平然と続けている。もはや倫理条例違反どころか背任罪も同然だ。
- ④ 岐阜県に本社を置く、リネンサプライ（病院・介護施設のシーツや白衣のクリーニングやメンテナンス）を主業務とする大手企業・株式会社トーカイのクリーニング工場が、毛呂

山町に誘致された際に、井上町長はトーカイに対して「排水施設は不用で川に流してよい」と言った。町長自らの言葉を疑う理由はないトーカイは工場を建設したものの、それは町長のただの放言で、実際には排水施設がなければ違法である。結果としてトーカイは、予定外の排水施設整備費の負担を強いられた。

このように井上健次という人物は、思いつきでデタラメを吹聴しては、人々を振り回すことが「町長の権限」であるかに勘違いしているようだ。町長という職責を微塵も果たしていない。ただ名刺に「毛呂山町長」と印刷されているだけの、有名無実の無責任公人たる典型である。

## 証拠録音があつてさえ「シラを切る、もはや確信犯！」

なによりも重大かつ深刻な問題は、井上町長自身の確信犯そのものの開き直りである。鎌北湖開発の土地売買については「買うとは言っていない」と公人としての口約を平然と翻し、地権者・相川氏を裏切るなど平気の平左である。地権者が後の事実証明のために面談した井上町長との会話を録音していた。

相川氏：9月26日に町長からお電話頂いた時には、「買いたい」という話を聞いた覚えがあるんですよ。町長から、そういうお話がありましたよね。

井上町長：うん。

相川氏：そしたら今度は、「借りたいんだ」と……。

井上町長：そうなんですよ。

平成29年10月20日に録音された音声の一部

誰がどう聞いても、井上町長は自分で土地を「買いたい」と言っていたことを記憶しており、認めているではないか。その口で、よくぞ「買うとは言っていない」などと放言出来るものだ。思いつき発言だけではなく、平然とウソを言う政治家である動かぬ証拠である。

この一点だけでも、井上健次という人物に毛呂山町長の名刺を持たせてはいけないことが明白だ。

本件については、毛呂山町民でもある長瀬衛町議が、ついに平成30年12月3日に行われた町議会の全員協議会において、井上町長を追及している。

ただし、それは議事録には記録されていない。公的に責任を追究されることを恐れた井上町長が、全員協議会での発言を拒否し「**全員協議会が閉じた後に非公式の場であれば、話をする**」などと抵抗したからである。

結果、町議全員と役場の関係者は同席したものの、議事録には記録されない形で、長瀬町議が井上町長の問題点を追究した。

それでもなお、井上町長は「**買いたいとは言っていない**」と繰り返した。

## 毛呂山町自体の「**信用さえ毀損する**」井上健次町長！

### 町議会は、井上町長の「**不信任案を議決せよ！**」

議事録に記録されなくとも、この事実は長瀬町議によって証言されており、また動かぬ証拠の録音が存在する以上、町議会は井上町長の不信任案を議決すべきであるし、それが可能なはずだ。

仮に**井上町長与党**が不信任案を否決しようとも、統一地方選挙は迫っている。このような町長を是とする町政与党の町議らがいるならば、井上町長に問題はないとする法的かつ政治的な見解を公表して頂こうではないか。井上健次町長は、毛呂山町民の利益と地域の発展など念頭にもない人物であることは明らかだ。そうでなければ何故、このような**姑息な嘘八百**で逃げられると高を括っていられるのだ？**町民をナメ切っている**からに他ならない。ことは町内の問題に留まらない。

前述の通り、他県企業のトーカイに対する井上町長の**適当極まる無責任発言**などは、毛呂山町という自治体自体の信用を毀損しているのだ。

井上健次氏が町長でいる以上、毛呂山町は観光やビジネス・パートナーの「**候補リストに載ることは遠い夢**」となるだろう。

この町に生まれ…育ち…この町で暮らし…町の繁栄を願う町民たちを小馬鹿にし続ける井上町長に、毛呂山町有権者は**統投を許すの**だろうか？ その町民の回答は、間近に迫っている。

#### ◆ 井上健次毛呂山町長の無責任極まる不作為

#### ◆ 毛呂山町・井上健次町長の反社会的町政が新たに発覚！！

※井上健次毛呂山町長の数々の問題を追究した本紙既報は、  
それぞれの記事リンクから詳細を一読して頂きたい。